

# エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)

## 通貨グループ

エマージング債券投信(円コース)毎月分配型/年2回決算型

エマージング債券投信(豪ドルコース)毎月分配型/年2回決算型

エマージング債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型/年2回決算型

エマージング債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型/年2回決算型

エマージング債券投信(米ドルコース)毎月分配型/年2回決算型

エマージング債券投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型/年2回決算型

エマージング債券投信(カナダドルコース)毎月分配型/年2回決算型

エマージング債券投信(トルコリラコース)毎月分配型/年2回決算型

## 代替通貨グループ

エマージング債券投信(金コース)毎月分配型/年2回決算型

追加型投信/海外/債券

〔投資信託説明書(交付目論見書) 2024.10.31〕



本書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。

- ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)は、委託会社のホームページに掲載しております。
- ファンドの信託約款の全文は、投資信託説明書(請求目論見書)に掲載しております。
- 投資信託説明書(請求目論見書)は、販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。なお、投資信託説明書(請求目論見書)の交付を請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。
- ファンドの内容に関して重大な変更を行う場合は、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき、事前に受益者の意向を確認する手続きを行います。
- ファンドの信託財産は、信託法に基づき、受託会社において分別管理されています。

ファンドの販売会社、基準価額などについては、下記委託会社の照会先までお問い合わせください。

委託会社 [ファンドの運用の指図を行う者]

**T&Dアセットマネジメント株式会社**

設立年月日: 1980年12月19日 資本金: 11億円  
(資本金、運用純資産総額は2024年5月末日現在)

金融商品取引業者登録番号: 関東財務局長(金商)第357号  
運用する投資信託財産の合計純資産総額: 11,447億円

<照会先>

電話番号: **03-6722-4810**

インターネットホームページ: <https://www.tdasset.co.jp/>

(受付時間は営業日の午前9時~午後5時)

受託会社 [ファンドの財産の保管および管理を行う者]

**三菱UFJ信託銀行株式会社**

ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

ファンドの名称について(本書においてファンドの名称を略称で記載する場合があります。)

ファンドの名称	略称		
エマーシング債券投信 (円コース)毎月分配型	エマーシング債券投信 (円コース)毎月	円コース(毎月)	円コース
エマーシング債券投信 (円コース)年2回決算型	エマーシング債券投信 (円コース)年2回	円コース(年2)	
エマーシング債券投信 (米ドルコース)毎月分配型	エマーシング債券投信 (米ドルコース)毎月	米ドルコース(毎月)	米ドルコース
エマーシング債券投信 (米ドルコース)年2回決算型	エマーシング債券投信 (米ドルコース)年2回	米ドルコース(年2)	
エマーシング債券投信 (豪ドルコース)毎月分配型	エマーシング債券投信 (豪ドルコース)毎月	豪ドルコース(毎月)	豪ドルコース
エマーシング債券投信 (豪ドルコース)年2回決算型	エマーシング債券投信 (豪ドルコース)年2回	豪ドルコース(年2)	
エマーシング債券投信 (ブラジルリアルコース)毎月分配型	エマーシング債券投信 (ブラジルリアルコース)毎月	ブラジルリアルコース(毎月)	ブラジルリアルコース
エマーシング債券投信 (ブラジルリアルコース)年2回決算型	エマーシング債券投信 (ブラジルリアルコース)年2回	ブラジルリアルコース(年2)	
エマーシング債券投信 (南アフリカランドコース)毎月分配型	エマーシング債券投信 (南アフリカランドコース)毎月	南アフリカランドコース(毎月)	南アフリカランドコース
エマーシング債券投信 (南アフリカランドコース)年2回決算型	エマーシング債券投信 (南アフリカランドコース)年2回	南アフリカランドコース(年2)	
エマーシング債券投信 (カナダドルコース)毎月分配型	エマーシング債券投信 (カナダドルコース)毎月	カナダドルコース(毎月)	カナダドルコース
エマーシング債券投信 (カナダドルコース)年2回決算型	エマーシング債券投信 (カナダドルコース)年2回	カナダドルコース(年2)	
エマーシング債券投信 (メキシコペソコース)毎月分配型	エマーシング債券投信 (メキシコペソコース)毎月	メキシコペソコース(毎月)	メキシコペソコース
エマーシング債券投信 (メキシコペソコース)年2回決算型	エマーシング債券投信 (メキシコペソコース)年2回	メキシコペソコース(年2)	
エマーシング債券投信 (トルコリラコース)毎月分配型	エマーシング債券投信 (トルコリラコース)毎月	トルコリラコース(毎月)	トルコリラコース
エマーシング債券投信 (トルコリラコース)年2回決算型	エマーシング債券投信 (トルコリラコース)年2回	トルコリラコース(年2)	
エマーシング債券投信 (金コース)毎月分配型	エマーシング債券投信 (金コース)毎月	金コース(毎月)	金コース
エマーシング債券投信 (金コース)年2回決算型	エマーシング債券投信 (金コース)年2回	金コース(年2)	

以上を総称して「エマーシング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」,また、総称または個別に「ファンド」、「各ファンド」または「各コース」ということがあります。毎月分配型のファンドを総称して「毎月分配型」、年2回決算型のファンドを総称して「年2回決算型」ということがあります。金コースを除いた各ファンドを総称して「通貨グループ」、金コースを「代替通貨グループ」ということがあります。

ファンド名	商品分類			属性区分				
	単字型・追加型	投資対象地域	投資対象資産(収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
円コース(毎月)	追加型	海外	債券	その他資産 (投資信託証券 (債券))	年12回 (毎月)	グローバル (日本を除く) /エマーシング	ファンド・オブ・ファンズ	あり(フルヘッジ)
米ドルコース(毎月)								なし
豪ドルコース(毎月)								なし
ブラジルリアルコース(毎月)								なし
南アフリカランドコース(毎月)								なし
カナダドルコース(毎月)								なし
メキシコペソコース(毎月)								なし
トルコリラコース(毎月)					なし			
金コース(毎月)					あり(フルヘッジ)			
円コース(年2)					年2回			なし
米ドルコース(年2)								なし
豪ドルコース(年2)								なし
ブラジルリアルコース(年2)								なし
南アフリカランドコース(年2)								なし
カナダドルコース(年2)	なし							
メキシコペソコース(年2)	なし							
トルコリラコース(年2)	なし							
金コース(年2)	あり(フルヘッジ)							

属性区分における「為替ヘッジ」は、対円での為替変動リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ([www.toushin.or.jp](http://www.toushin.or.jp))をご参照ください。

この投資信託説明書(交付目論見書)により行う「エマーシング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2024年8月8日に関東財務局長に提出しており、2024年8月9日にその効力が生じております。

# ファンドの目的・特色

## ファンドの目的

高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

## ファンドの特色

1. 実質的な投資対象通貨の異なる8つのコース(通貨グループ)と、実質的に金取引を行うコース(代替通貨グループ)から構成されています。
2. 米ドル建のエマージング国債を実質的な主要投資対象として、相対的に高いインカムゲインの獲得と中長期的な信託財産の成長を目指します。また、投資対象の一部にエマージング社債を加えることで、更なる利回りの向上に努めます。
3. 各コースには、「毎月分配型」と「年2回決算型」があります。「毎月分配型」の各ファンド間および「年2回決算型」の各ファンド間でスイッチングを行うことができます。
4. エマージング債券の運用は、キャピタル・インターナショナル・インクが行います。  
キャピタル・インターナショナル・インクは、世界有数の運用経験を誇る運用会社キャピタル・グループの一員です。

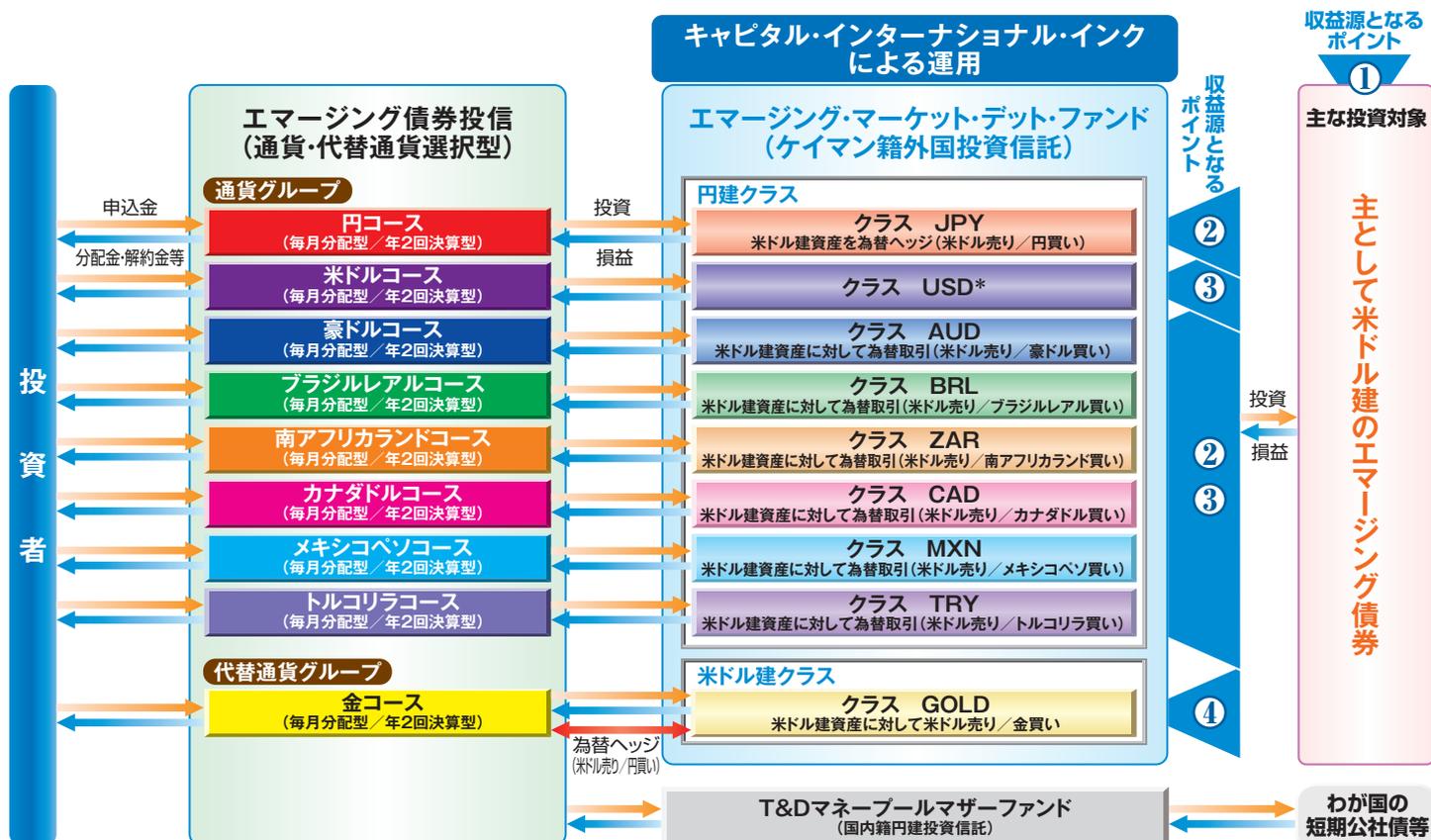


資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

## ファンドの仕組み

■ファンドは、以下の投資信託証券に投資を行うファンド・オブ・ファンズです。

- ・外国投資信託の組入比率は、原則として高位を保ちます。
- ・国内投資信託であるT&Dマネーパールマザーファンドへの投資も行います。



\*クラスUSDについては、米ドル建資産に対して為替ヘッジを行わず、米ドルへの投資効果を追求します。

## ファンドの収益源となる4つのポイント

- エマーシング債券への投資に加え、投資対象通貨\*1および代替通貨(金)の選択が可能なファンドです。
  - エマーシング債券を実質的な投資対象とし、相対的に高いインカムゲインの獲得と中長期的な信託財産の成長を目指します。通貨グループの各ファンドは、円コースでは為替ヘッジ、円コースおよび米ドルコース\*2を除く各コースではそれぞれ6種類の通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド、カナダドル、メキシコペソ、トルコリラ)で為替取引\*3を活用します。また、代替通貨グループの各ファンドは、金取引\*4を活用することで、米ドルベースの金への投資効果を追求します。
- \*1 「投資対象通貨」とは、円、米ドル、豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド、カナダドル、メキシコペソ、トルコリラの8種類を指します。  
 \*2 米ドルコースは、米ドル建資産に対して為替ヘッジは行わず、米ドルへの投資効果を追求します。  
 \*3 ファンドにおける「為替取引」とは、米ドル売り/各投資対象通貨買い(円コースおよび米ドルコースを除く)の為替取引をいいます。各コース(円コースおよび金コースを除く)の各投資対象通貨と円との間で為替ヘッジは行いませんので、各投資対象通貨の円に対する為替変動リスクがあります。  
 \*4 ファンドにおける「金取引」とは、投資対象資産(米ドル建エマーシング債券)に加え、米ドルベースの金への投資効果を追求することをいいます。



資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われません。

収益源となるポイント ① エマージング債券への投資

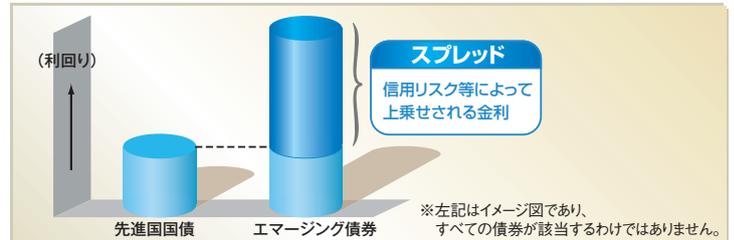
相対的に利回りの高い米ドル建エマージング国債を実質的な主要投資対象とすることで、高水準のインカムゲインと中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

また、一部エマージング社債への投資を行うことで、更なる利回りの向上が期待できます。

- エマージング債券への投資は、エマージング・マーケット・デット・ファンドを通じて行います。
- 投資対象の信用格付には制限を設けません。
- エマージング社債への投資については、信託財産の30%程度の範囲内とします。
- 現地通貨建エマージング債券への投資については、信託財産の20%程度の範囲内とします。

相対的に高い利回りと信用リスク

- ◆エマージング債券とは、エマージング国(新興国)の政府、政府機関および企業が発行する債券をいいます。
- ◆エマージング債券は他の債券と比較して、信用リスク等が高い分金利の上乗せがあり、相対的に高い利回りとなっています。



キャピタル・インターナショナル・リンクによるアクティブ運用

エマージング債券の運用は、世界有数の運用経験を誇る運用会社キャピタル・グループの一員である、キャピタル・インターナショナル・リンクが行います。キャピタル・グループは1994年からエマージング債券運用を開始し、約30年の豊富な経験を有しており、世界中の投資家から高い評価を得ています。

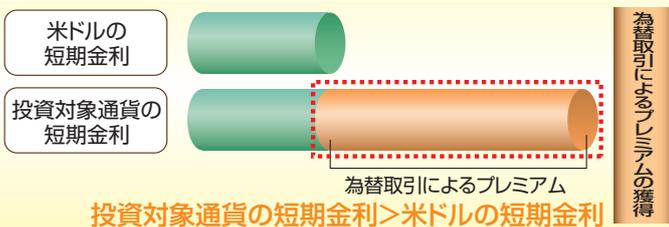
通貨グループ

収益源となるポイント ② 為替取引の活用 為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)と為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)

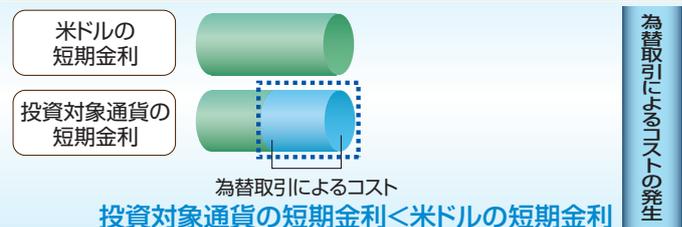
各コース(円コースおよび米ドルコースを除く)では、米ドル売り/各投資対象通貨買いの為替取引を行います。為替取引によるプレミアム(コスト)は、投資対象通貨の短期金利の変化によって影響を受けるため、米ドルよりも短期金利が高い通貨のコースでは、「為替取引によるプレミアム」の獲得が期待できます。一方で、米ドルよりも短期金利が低い通貨のコースでは、「為替取引によるコスト」が発生します。また、円コースでは、為替ヘッジにより米ドル建のエマージング債券の為替変動リスクを低減します。

- ブラジルレアルは、NDF取引で為替取引を行います。NDF取引を用いた為替取引では、通常の為替予約と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利(NDF想定金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少や為替取引によるコストの発生によりファンドのパフォーマンスに影響を与える場合があります。

米ドルよりも高金利の通貨で為替取引を行う場合



米ドルよりも低金利の通貨で為替取引を行う場合



- 米ドル建資産に対して投資対象通貨での為替取引(米ドル売り/各投資対象通貨買い)を行うと、円に対する米ドルの為替変動リスクから、各投資対象通貨の円に対する為替変動リスクへと変わります。
- 米ドル建資産に対して為替取引(米ドル売り/各投資対象通貨買い)が完全に行えなかった場合、完全に行えた場合に比べて為替取引によるプレミアムを十分に獲得できなかったり、米ドルに対する為替変動の影響を受ける可能性があります。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

通貨グループ

収益源となるポイント ③ 投資対象通貨の為替変動

為替差益も収益源となります。円以外の投資対象通貨の対円レートが上昇(円安)した場合には為替差益を得ることができ、逆に、投資対象通貨の対円レートが下落(円高)した場合は為替差損が発生します。

ファンド名	下落 ← [基準価額] → 上昇
円コース	原則として、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。
米ドルコース 豪ドルコース ブラジルリアルコース 南アフリカランドコース カナダドルコース メキシコペソコース トルコリラコース	投資対象通貨安 (円高) ← 円に対して → 投資対象通貨高 (円安)

●円コースについては、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。

代替通貨グループ

収益源となるポイント ④ 金取引の活用

金取引を活用することで、米ドルベースの金への投資効果を追求します。米ドルベースの金価格が上昇した場合には差益を得ることができ、下落した場合には差損が発生します。なお、金取引に際しては、金取引によるコストが発生します。

金コースの仕組み



\*1 金コースについては、為替ヘッジ(米ドル売り/円買い)により米ドルの円に対する為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。

\*2 円の短期金利が米ドルの短期金利よりも低い場合には為替ヘッジコスト、逆の場合には為替ヘッジプレミアムが発生します。

\*3 収益源はマイナスとなることもあります。

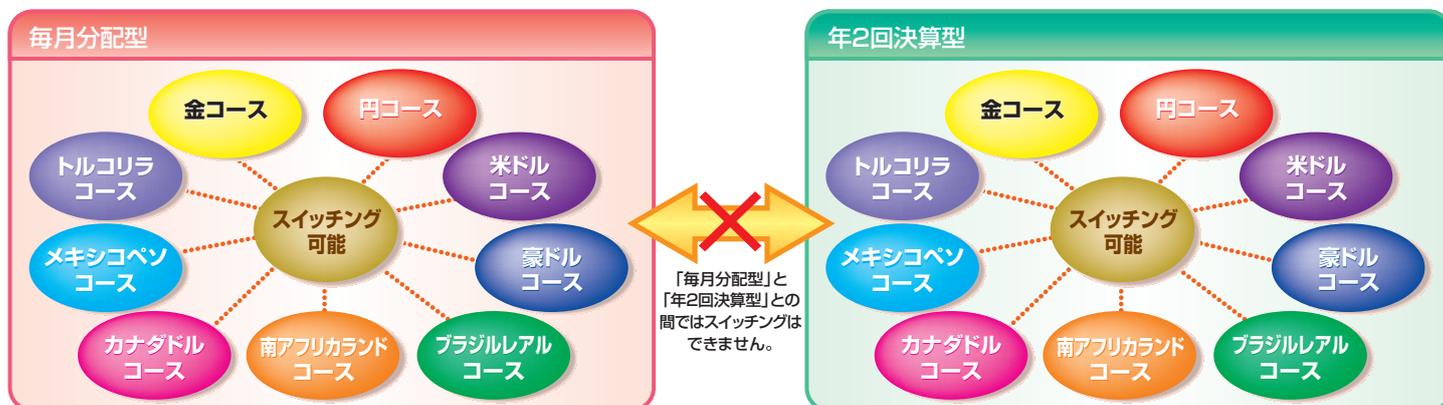
資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

## スイッチングについて

■「毎月分配型」の各ファンド間および「年2回決算型」の各ファンド間でスイッチングが可能です。

スイッチングとは、保有しているファンドの換金と同時に他のファンドを購入することをいいます。  
スイッチングの際には、購入・換金時と同様に販売会社が定める所定の手数料等がかかります。

市場環境の変動等に応じて、各ファンド間のスイッチングをご活用いただけます。



※上図はファンド間で行うことができるスイッチングのイメージ図です。

## 主な投資制限

- |              |  |
|--------------|--|
| 投資信託証券への投資割合 | 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。  |
| 外貨建資産への投資割合  | [金コースを除く各ファンド] 外貨建資産への直接投資は行いません。<br>[金コース] 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 株式への投資割合     | 株式への直接投資は行いません。  |

## 分配方針

■分配頻度の異なる2つのシリーズから選択が可能です。

### 毎月分配型

年12回、毎月10日(休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益を中心に安定分配<sup>(注)</sup>を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。また、5月および11月の決算時(金コースについては、2月、5月、8月および11月の決算時)には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

(注)「原則として、利子・配当等収益を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。



### 年2回決算型

年2回、5月および11月の各10日(休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。



※上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

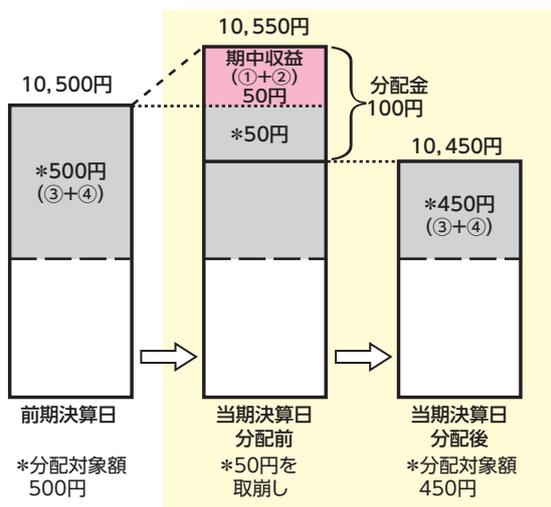
投資信託で分配金が支払われるイメージ



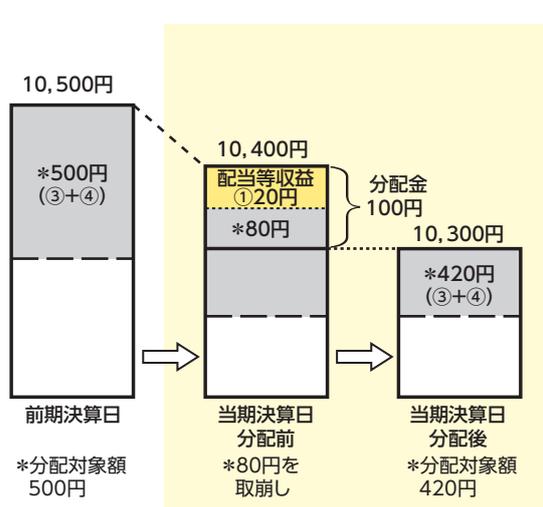
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算日から基準価額が下落した場合

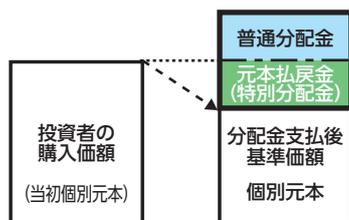


※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

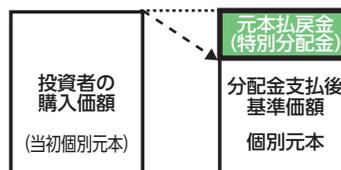
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

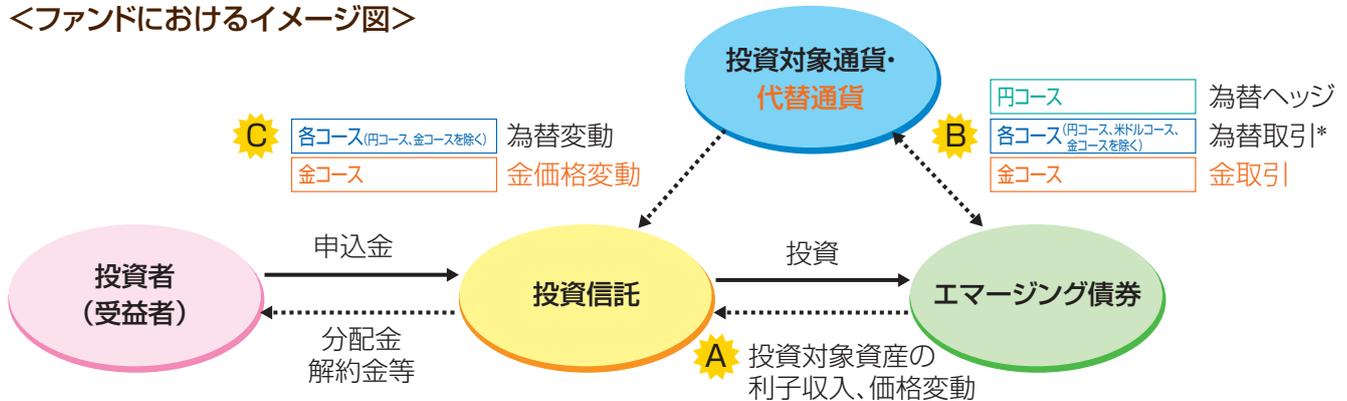
元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※普通分配金に対する課税については、後掲「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

# 通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券等といった投資対象資産に加えて、実質的な投資対象通貨を選択することができるよう設計された投資信託です。
- ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、これらの収益源に相応してリスクが内在することにご留意ください。

＜ファンドにおけるイメージ図＞



\*Bの為替取引においては、投資対象通貨の対円での為替リスクが発生することにご留意ください。

## ◆各コース(金コースを除く)



## ◆金コース



収益を得られるケース	投資対象資産の市況の好転 (金利の低下)	各コース(米ドルコース、金コースを除く) 投資対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利	各コース(注3) (円コース、金コースを除く)	金コース
	債券価格の上昇	為替ヘッジまたは為替取引によるプレミアム (金利差相当分の収益) の発生	投資対象通貨が対円で上昇(円安)	金価格(米ドルベース)の上昇
損失やコストが発生するケース	投資対象資産の市況の悪化 (金利の上昇、発行体の信用状況の悪化)	各コース(米ドルコース、金コースを除く) 投資対象通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利	各コース(注3) (円コース、金コースを除く)	金コース
	債券価格の下落	為替ヘッジまたは為替取引によるコスト(金利差相当分の費用) の発生	投資対象通貨が対円で下落(円高)	金価格(米ドルベース)の下落

(注1)円コースについては、為替ヘッジ(米ドル売り/円買い)により為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。

(注2)・金取引(金ポジションの構築)に際しては、米ドルの短期金利相当分の金取引によるコストがかかります。  
・金コースについては、為替ヘッジ(米ドル売り/円買い)により米ドルの円に対する為替変動リスクの低減を図ります。円の短期金利が米ドルの短期金利よりも低い場合には為替ヘッジコスト、逆の場合には為替ヘッジプレミアムが発生します。

(注3)米ドルコースでは、原則として為替ヘッジおよび為替取引を行いませんので、投資対象資産(米ドル建)の影響を受け、米ドルが対円で上昇(円安)した場合は為替差益、米ドルが対円で下落(円高)した場合は為替差損が発生します。

上記はイメージであり、実際の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

# 追加的記載事項

## 投資する投資信託証券の概要

ファンド名	エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスJPY (毎月分配型) / (年2回決算型) エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスUSD (毎月分配型) / (年2回決算型) エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスAUD (毎月分配型) / (年2回決算型) エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスBRL (毎月分配型) / (年2回決算型) エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR (毎月分配型) / (年2回決算型) エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスCAD (毎月分配型) / (年2回決算型) エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスMXN (毎月分配型) / (年2回決算型) エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスTRY (毎月分配型) / (年2回決算型) エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスGOLD (毎月分配型) / (年2回決算型)																					
分類	[クラスJPY, USD, AUD, BRL, ZAR, CAD, MXN, TRY] ケイマン籍 / 外国投資信託 / 円建 [クラスGOLD] ケイマン籍 / 外国投資信託 / 米ドル建																					
設定日	[クラスJPY, AUD, BRL, ZAR] 2009年11月4日 [クラスCAD, MXN, TRY, GOLD] 2011年8月10日 [クラスUSD] 2014年2月7日																					
運用基本方針 主な投資対象	米ドル建のエマージング債券を主要投資対象とし、インカムゲインの確保に加え、中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。 各クラスにおいては、外国為替予約取引、為替先物取引等*を活用します。また、クラスGOLDにおいては、金フォワード取引(金先渡取引)を活用します。 *NDF取引を行う場合があります。																					
投資態度	①通常、米ドル建のエマージング債券に主に投資します。 ②国債等のソブリン債、または政府機関債等の準ソブリン債を主な投資対象とします。 ③エマージング社債への投資については、信託財産の30%程度の範囲内とします。 ④投資対象の信用格付には制限を設けません。 [各クラスの為替ヘッジおよび為替取引] クラス毎に、米ドル建資産に対して、原則として以下の為替ヘッジおよび為替取引を行います。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>クラスJPY</td> <td>米ドル売り / 円買いの為替ヘッジ</td> <td>クラスCAD</td> <td>米ドル売り / カナダドル買いの為替取引</td> </tr> <tr> <td>クラスUSD</td> <td>為替ヘッジは行いません。</td> <td>クラスMXN</td> <td>米ドル売り / メキシコペソ買いの為替取引</td> </tr> <tr> <td>クラスAUD</td> <td>米ドル売り / 豪ドル買いの為替取引</td> <td>クラスTRY</td> <td>米ドル売り / トルコリラ買いの為替取引</td> </tr> <tr> <td>クラスBRL</td> <td>米ドル売り / ブラジルレアル買いの為替取引</td> <td>クラスGOLD</td> <td>米ドル売り / 金買いの取引</td> </tr> <tr> <td>クラスZAR</td> <td>米ドル売り / 南アフリカランド買いの為替取引</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。		クラスJPY	米ドル売り / 円買いの為替ヘッジ	クラスCAD	米ドル売り / カナダドル買いの為替取引	クラスUSD	為替ヘッジは行いません。	クラスMXN	米ドル売り / メキシコペソ買いの為替取引	クラスAUD	米ドル売り / 豪ドル買いの為替取引	クラスTRY	米ドル売り / トルコリラ買いの為替取引	クラスBRL	米ドル売り / ブラジルレアル買いの為替取引	クラスGOLD	米ドル売り / 金買いの取引	クラスZAR	米ドル売り / 南アフリカランド買いの為替取引		
クラスJPY	米ドル売り / 円買いの為替ヘッジ	クラスCAD	米ドル売り / カナダドル買いの為替取引																			
クラスUSD	為替ヘッジは行いません。	クラスMXN	米ドル売り / メキシコペソ買いの為替取引																			
クラスAUD	米ドル売り / 豪ドル買いの為替取引	クラスTRY	米ドル売り / トルコリラ買いの為替取引																			
クラスBRL	米ドル売り / ブラジルレアル買いの為替取引	クラスGOLD	米ドル売り / 金買いの取引																			
クラスZAR	米ドル売り / 南アフリカランド買いの為替取引																					
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②現地通貨建エマージング債券への投資は、信託財産の20%程度の範囲内とします。この場合には、原則として当該現地通貨売り、米ドル買いの為替取引を行います。 ③1発行体(国債 / 政府機関債等を除く)への投資は、信託財産の5%を上限とします。																					
決算日	12月31日																					
分配方針	毎月分配型：原則として、毎月分配を行います。 年2回決算型：原則として、年2回分配を行います。																					
信託報酬等	純資産総額の年0.75%程度。内訳は以下の通りです。 運用報酬:0.70%程度 管理報酬:0.05%程度 その他コストディフィー等については運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。																					
投資顧問会社	T&Dアセットマネジメント株式会社 [エマージング債券の運用およびクラスGOLD以外の各クラスの運用] ユニオンバンケール プリヴェ ユービーピー エスエー [クラスGOLDにおける金の運用]																					
副投資顧問会社	キャピタル・インターナショナル・リンク [エマージング債券の運用]																					

ファンド名	T&Dマネープールマザーファンド
分類	親投資信託
設定日	2005年2月28日
運用基本方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主な投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
主な投資制限	①株式への投資は行いません。 ②外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配は行いません。
決算日	6月、12月の各10日(休業日の場合は翌営業日)
委託会社	T&Dアセットマネジメント株式会社

各概要は2024年5月末日現在のものであり、今後変更になる場合があります。

# 投資リスク

## 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。

したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

債券価格変動 リスク	債券(公社債)は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。 一般に市場金利が上昇した場合や発行体の信用度が低下した場合には債券の価格は下落し、基準価額が値下がりする要因となります。特にファンドが実質的に投資を行うエマージング債券等の信用格付の低い債券については、信用格付の高い債券に比べ価格が大きく下落する可能性や組入債券の元利金の支払遅延および支払不履行等が生じるリスクが高いと想定されます。
カントリーリスク	ファンドが実質的に投資を行うエマージング債券については、投資対象国の金融商品取引所や証券市場、会計基準および法制度等が、先進国と異なることがあります。また、政治経済情勢、通貨規制、資本規制等の要因による影響を受けて損失を被る可能性があります。
為替変動リスク	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 円コースは、投資対象である外国投資信託の組入資産(米ドル建)に対して、金コースは、投資対象である米ドル建の外国投資信託に対して原則として対円での為替ヘッジを行い為替リスクの低減を図ります。なお、米ドルの為替変動の影響を完全に排除することはできませんので、米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。</li><li>・ 米ドルコースは、投資対象である外国投資信託の組入資産(米ドル建)に対して、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、米ドルの対円での為替変動の影響を大きく受けます。</li><li>・ 上記以外の各コースは、投資対象である外国投資信託の組入資産(米ドル建)に対して、原則として各コースの通貨での為替取引(米ドル売り/各投資対象通貨買い)を行いますので、各コースの通貨の為替変動の影響を大きく受けます。なお、米ドルの為替変動の影響を完全に排除することはできませんので、米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。</li></ul> ※米ドルコースを除く各コースの通貨(金コースにおいては円)の金利が米ドルの金利より低い場合、その金利差相当分の為替ヘッジまたは為替取引によるコストがかかることにご留意ください。
金価格変動 リスク	金の価格は、金の需給関係や為替、金利の変動、政治・経済情勢等に基づき変動します。金コースは、投資対象である外国投資信託の組入資産(米ドル建)について、原則として米ドルベースの金取引を行いますので、金価格の影響を大きく受けます。また、米ドルの金利相当分の金取引によるコストがかかることにご留意ください。

※基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 大量の解約・換金申込を受け付け短期間で解約資金を準備する必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、投資する有価証券の価格が下落し、基準価額が変動する要因となります。また、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 有価証券への投資や為替取引等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手先の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。
- 為替取引に関する留意点  
ファンドにおける為替取引は、主に為替予約取引を活用しますが、通貨取引に対する規制等の理由から、当該通貨での為替予約取引を行うことが難しい一部の新興国通貨については、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用します。NDF取引を用いた為替取引では、通常の為替予約取引と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利(NDF想定金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少や為替取引によるコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与える場合があります。  
※NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引とは
  - ・投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行う取引をいいます。
  - ・新興国通貨等への取引ニーズの高まりと共に、NDF取引が活用されるようになりました。

## リスクの管理体制

委託会社では、運用部門は定められた運用プロセスを通じて投資リスクを管理します。また、運用部門から独立した部門がファンドのパフォーマンス分析・評価および法令・運用諸規則等に照らした適正性の審査等の結果について、各種委員会等に報告を行い、必要に応じて適切な措置を講じる体制となっております。

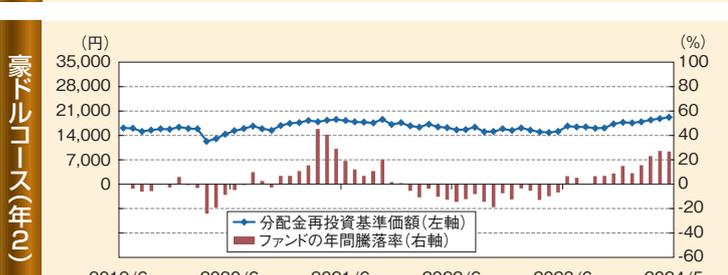
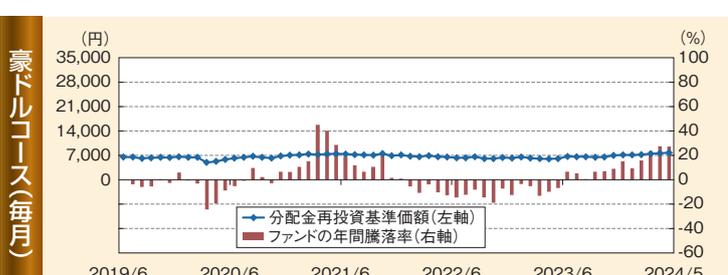
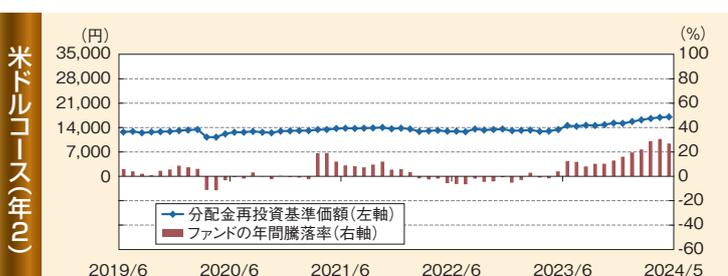
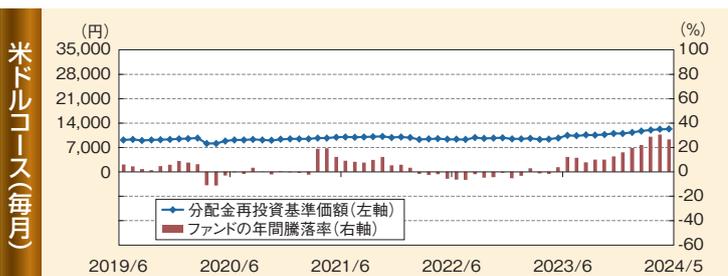
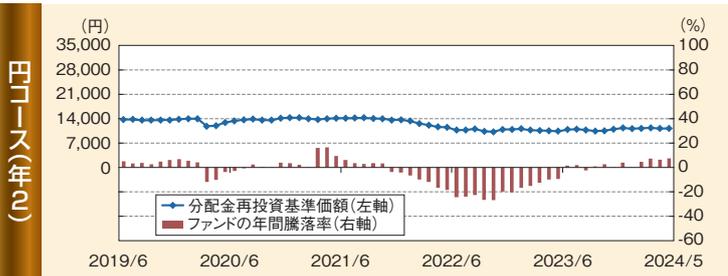
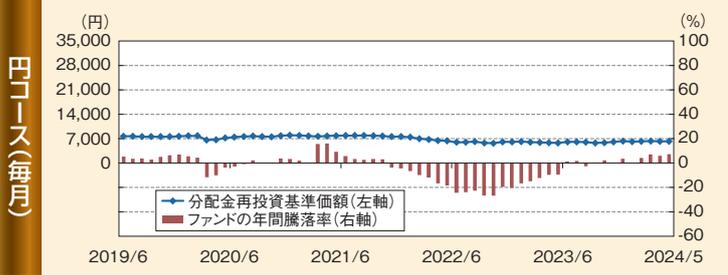
なお、流動性リスク管理について社内規程を制定し、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行います。流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢については、定期的にリスク管理委員会および取締役会への報告を行います。

# 《参考情報》

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

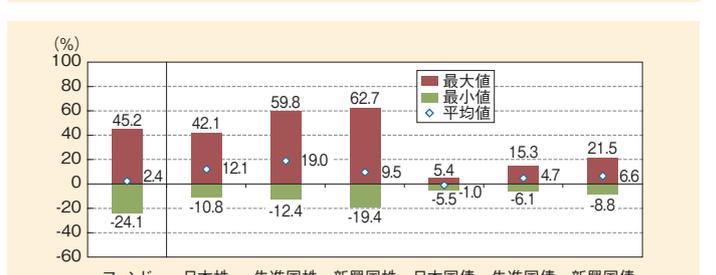
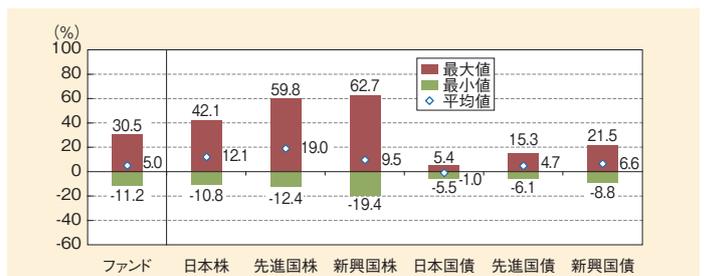
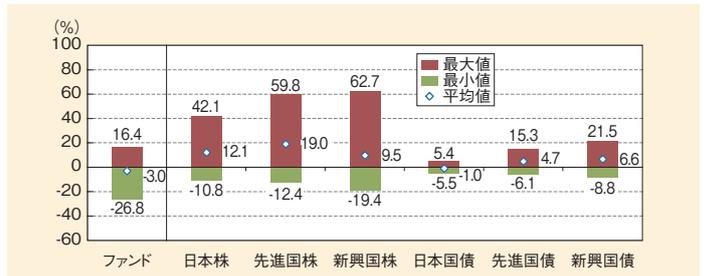
### ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移

(2019年6月～2024年5月)

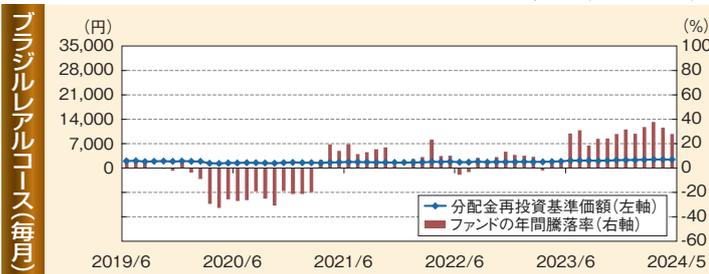


### ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

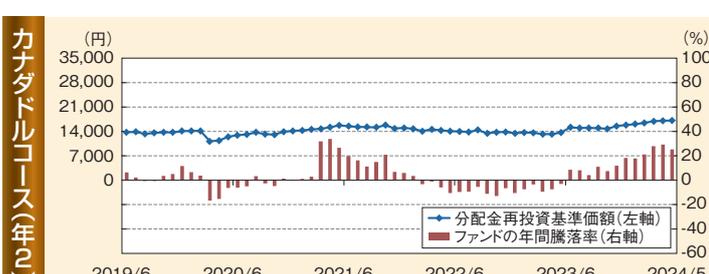
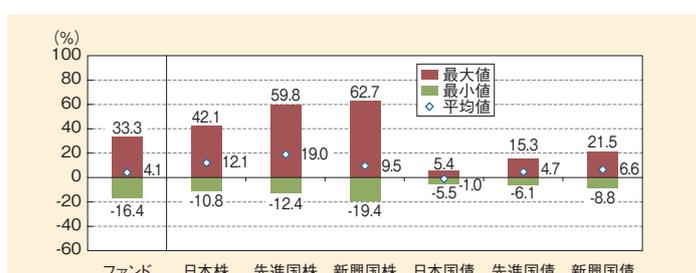
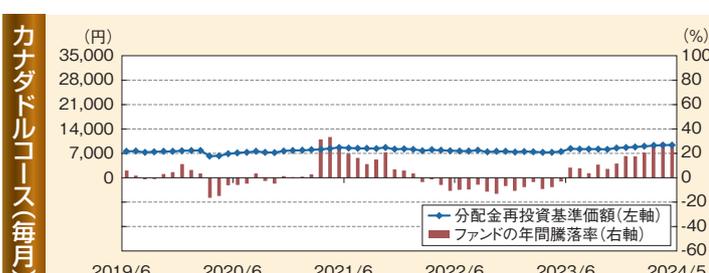
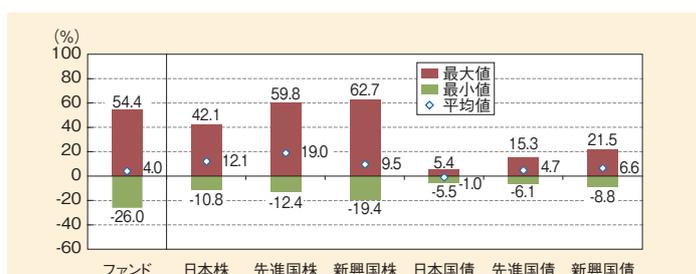
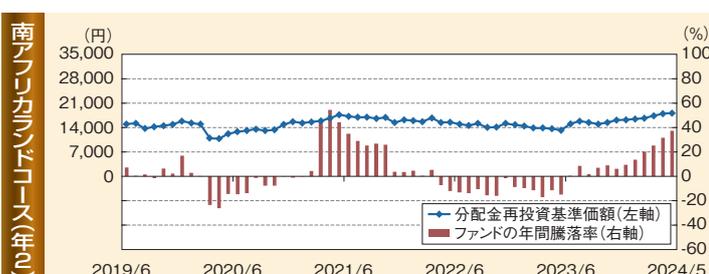
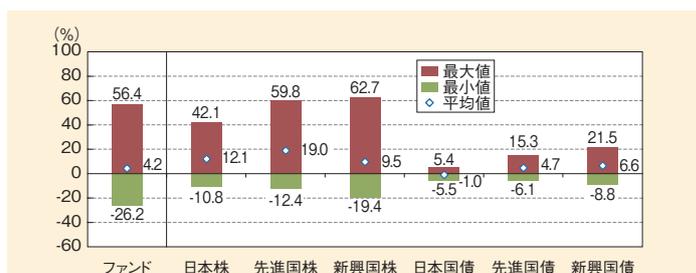
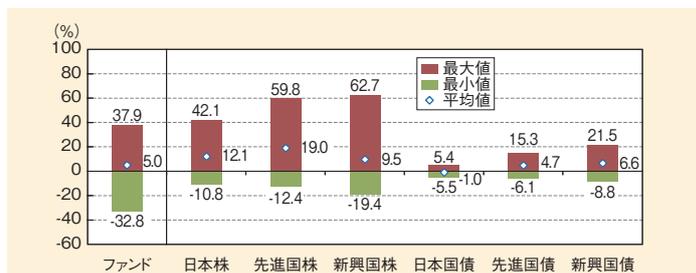
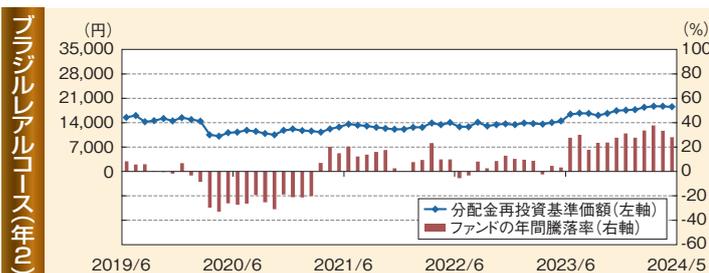
(2019年6月～2024年5月)



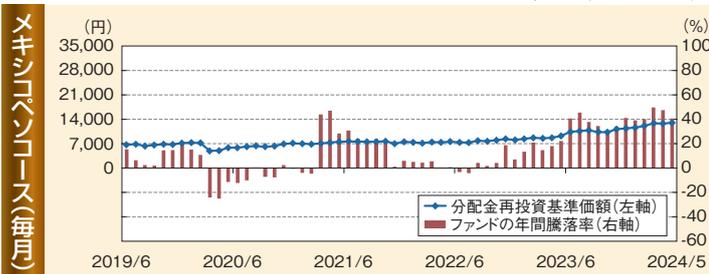
(2019年6月～2024年5月)



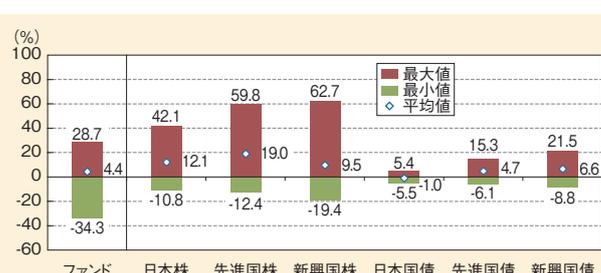
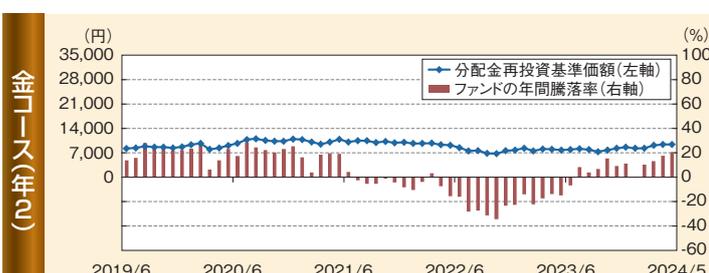
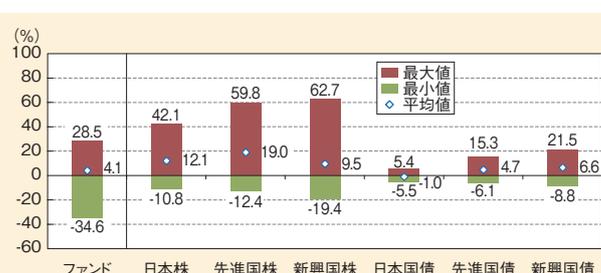
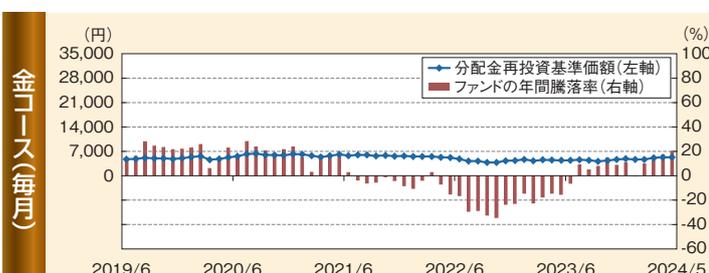
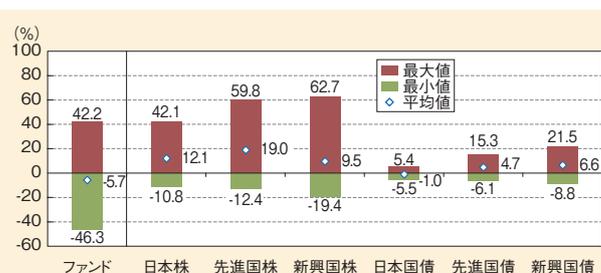
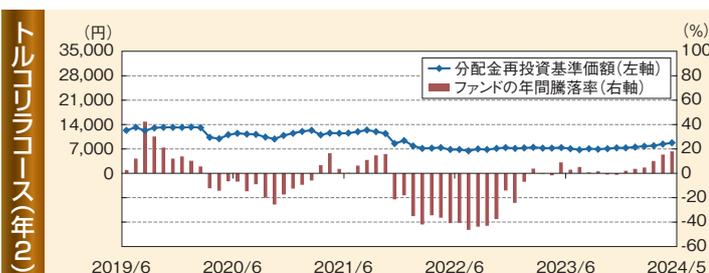
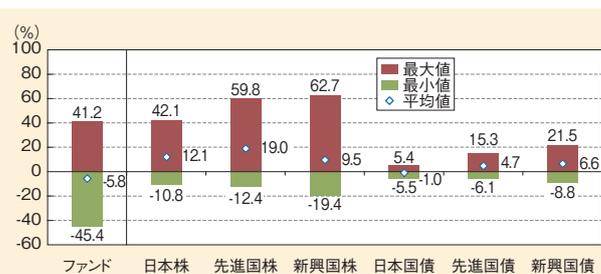
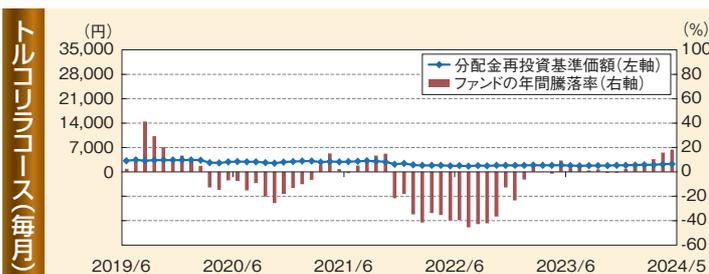
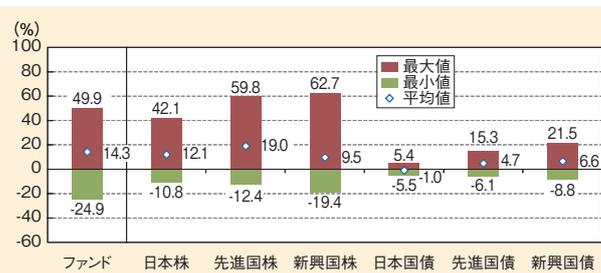
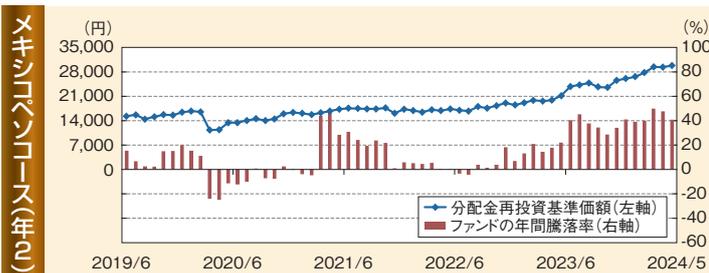
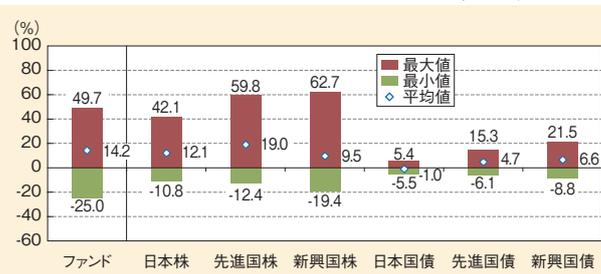
(2019年6月～2024年5月)



(2019年6月～2024年5月)



(2019年6月～2024年5月)



(注)ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額が記載されており、実際の基準価額及び実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※左のグラフの分配金再投資基準価額は、2019年6月末の基準価額を起点に指数化したものです。

※右のグラフは、2019年6月から2024年5月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※右のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※上記の騰落率は2024年5月末から遡って算出した結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

#### ○各資産クラスの指数

- 日本株 …… 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)
- 先進国株 …… MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
- 新興国株 …… MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債 …… NOMURA-BPI国債
- 先進国債 …… FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債 …… JPMオルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※詳細は「指数に関して」をご参照ください。

#### ●指数に関して

##### ○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

###### 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

東証株価指数(TOPIX)とは、株式会社JPX総研が算出する株価指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研に帰属します。

###### MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

###### MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

###### NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

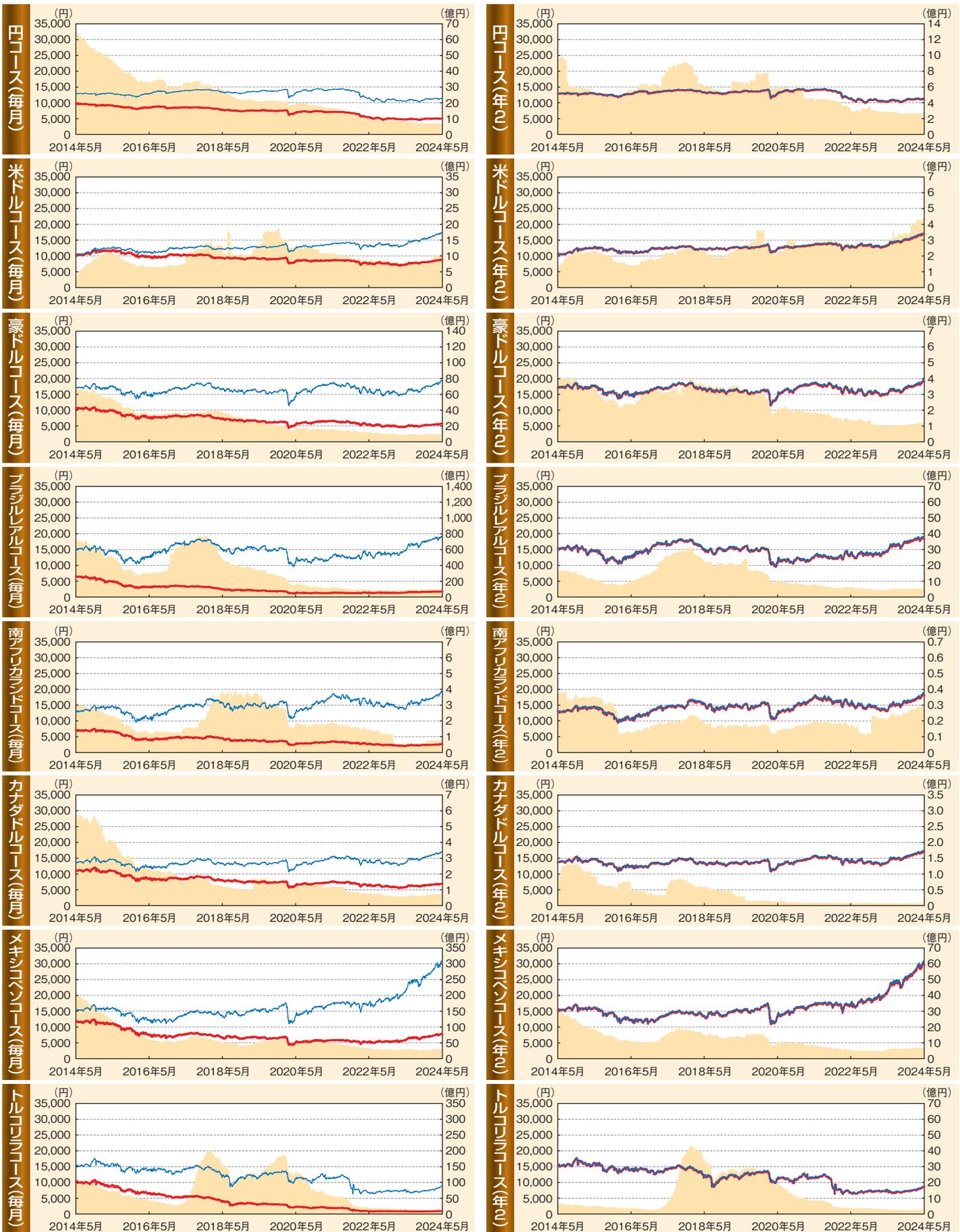
###### FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

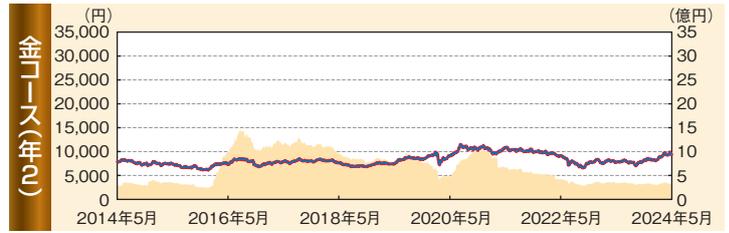
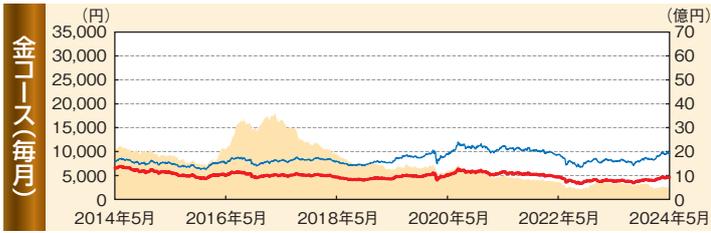
FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

###### JPMオルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド(円ベース)

JPMオルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイドは、JPモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPモルガン社に帰属します。

## 基準価額・純資産の推移





— 分配金再投資基準価額(左軸)  
— 基準価額(左軸)  
— 純資産総額(右軸)

※分配金再投資基準価額は収益分配金(税引前)を再投資したものとみなして計算したものです。

※基準価額および分配金再投資基準価額は信託報酬控除後の値です。

2014年5月30日～2024年5月31日

### 分配の推移(1万口当たり、税引前)

	円コース(毎月)	米ドルコース(毎月)	豪ドルコース(毎月)	ブラジルリアルコース(毎月)	南アフリカランドコース(毎月)
2024年5月	2円	35円	20円	5円	15円
2024年4月	2円	35円	20円	5円	15円
2024年3月	5円	35円	20円	5円	15円
2024年2月	5円	35円	20円	5円	15円
2024年1月	5円	35円	20円	5円	15円
直近1年間累計	64円	435円	250円	60円	185円
設定来累計	6,909円	6,235円	10,190円	11,560円	10,890円

	円コース(年2)	米ドルコース(年2)	豪ドルコース(年2)	ブラジルリアルコース(年2)	南アフリカランドコース(年2)
2024年5月	10円	10円	10円	10円	10円
2023年11月	10円	10円	10円	10円	10円
2023年5月	10円	10円	10円	10円	10円
2022年11月	10円	10円	10円	10円	10円
2022年5月	10円	10円	10円	10円	10円
設定来累計	280円	210円	280円	280円	280円

	カナダドルコース(毎月)	メキシコペソコース(毎月)	トルコリラコース(毎月)	金コース(毎月)
2024年5月	30円	45円	5円	2円
2024年4月	30円	45円	5円	2円
2024年3月	30円	45円	5円	5円
2024年2月	30円	45円	5円	5円
2024年1月	30円	45円	5円	5円
直近1年間累計	365円	540円	60円	59円
設定来累計	7,720円	10,620円	11,485円	4,404円

	カナダドルコース(年2)	メキシコペソコース(年2)	トルコリラコース(年2)	金コース(年2)
2024年5月	10円	10円	10円	0円
2023年11月	10円	10円	10円	0円
2023年5月	10円	10円	10円	0円
2022年11月	10円	10円	10円	0円
2022年5月	10円	10円	10円	0円
設定来累計	250円	250円	260円	10円

## 主要な資産の状況

### ◆投資比率

円コース(毎月)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスJPY(毎月分配型)	96.9%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.8%
現金・預金等	2.3%
合計	100.0%

米ドルコース(毎月)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスUSD(毎月分配型)	94.7%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.7%
現金・預金等	4.6%
合計	100.0%

豪ドルコース(毎月)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスAUD(毎月分配型)	96.1%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.7%
現金・預金等	3.2%
合計	100.0%

ブラジルリアルコース(毎月)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスBRL(毎月分配型)	95.6%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.5%
現金・預金等	3.9%
合計	100.0%

南アフリカランドコース(毎月)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR(毎月分配型)	93.1%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.8%
現金・預金等	6.1%
合計	100.0%

カナダドルコース(毎月)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスCAD(毎月分配型)	94.0%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.8%
現金・預金等	5.3%
合計	100.0%

メキシコペソコース(毎月)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスMXN(毎月分配型)	95.9%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.8%
現金・預金等	3.3%
合計	100.0%

トルコリラコース(毎月)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスTRY(毎月分配型)	95.7%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	1.2%
現金・預金等	3.1%
合計	100.0%

金コース(毎月)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスGOLD(毎月分配型)	93.8%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.8%
現金・預金等	5.4%
合計	100.0%

円コース(年2)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスJPY(年2回決算型)	94.7%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.7%
現金・預金等	4.7%
合計	100.0%

米ドルコース(年2)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスUSD(年2回決算型)	95.4%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.3%
現金・預金等	4.3%
合計	100.0%

豪ドルコース(年2)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスAUD(年2回決算型)	94.1%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.6%
現金・預金等	5.3%
合計	100.0%

ブラジルリアルコース(年2)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスBRL(年2回決算型)	95.9%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.6%
現金・預金等	3.5%
合計	100.0%

南アフリカランドコース(年2)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR(年2回決算型)	94.7%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.4%
現金・預金等	4.9%
合計	100.0%

カナダドルコース(年2)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスCAD(年2回決算型)	93.5%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.9%
現金・預金等	5.5%
合計	100.0%

メキシコペソコース(年2)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスMXN(年2回決算型)	96.5%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.6%
現金・預金等	2.9%
合計	100.0%

トルコリラコース(年2)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスTRY(年2回決算型)	95.2%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.9%
現金・預金等	4.0%
合計	100.0%

金コース(年2)	
エマーシング・マーケット・デット・ファンド・クラスGOLD(年2回決算型)	95.0%
T&Dマネー・プール・マザー・ファンド	0.9%
現金・預金等	4.1%
合計	100.0%

※比率は、表示桁数未満を四捨五入しているため、合計の数値が必ずしも100とはなりません。

## ◆エマージング・マーケット・デット・ファンドの運用状況 (2024年5月末現在(現地))

### <組入上位銘柄>

銘柄名(銘柄数 177)	種類	クーポン	償還日	比率
REPUBLIC OF TURKIYE	ソブリン債	7.625%	2029/4/26	2.1%
SAUDI INTERNATIONAL BOND	ソブリン債	5.000%	2053/1/18	1.9%
REPUBLIC OF ARGENTINA	ソブリン債	3.625%	2035/7/9	1.7%
OMAN GOV INTERNTL BOND	ソブリン債	6.250%	2031/1/25	1.7%
HONDURAS GOVERNMENT	ソブリン債	5.625%	2030/6/24	1.7%
ARAB REPUBLIC OF EGYPT	ソブリン債	7.053%	2032/1/15	1.7%
REPUBLIC OF NIGERIA	ソブリン債	7.875%	2032/2/16	1.4%
BRASKEM IDESA SAPI	社債	7.450%	2029/11/15	1.4%
KASIKORNBANK PCL HK	社債	3.343%	2031/10/2	1.4%
UNITED MEXICAN STATES	ソブリン債	6.338%	2053/5/4	1.4%

### <投資比率>

ソブリン債(119銘柄)	66.6%
社債(58銘柄)	20.7%
現金・預金等	12.6%
合計	100.0%

※比率は、表示桁数未満を四捨五入しているため、合計の数値が必ずしも100とはなりません。

※エマージング・マーケット・デット・ファンドの運用状況は、当該ファンドのカストディアンであるJ.P.モルガンより入手したデータをもとに作成しております。  
 ※比率および投資比率は、エマージング・マーケット・デット・ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。  
 ※変動利付債のクーポンは、現地基準日の経過利息における利率です。

## ◆T&Dマネープールマザーファンドの運用状況

### <組入上位銘柄>

銘柄名(銘柄数 1)	種類	償還日	比率
第1207回国庫短期証券	国債証券	2025/1/20	60.0%

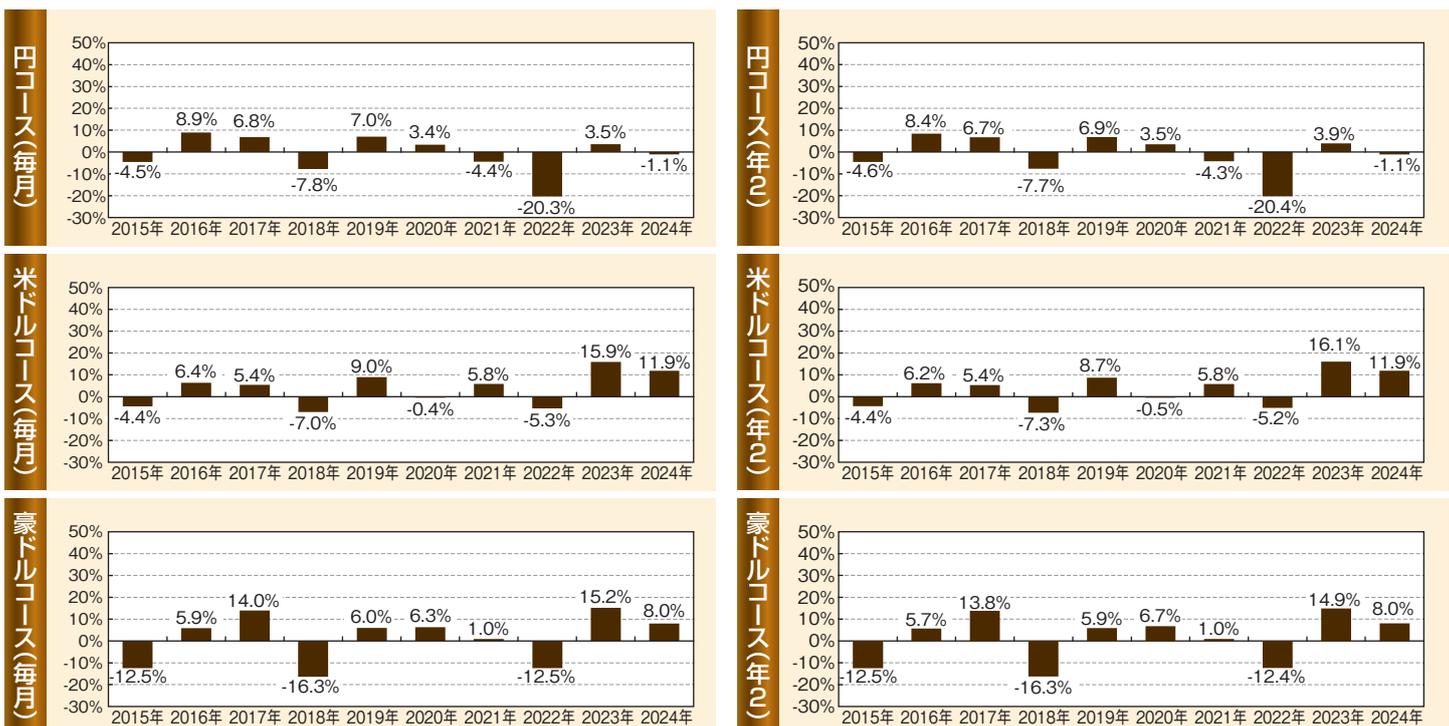
### <投資比率>

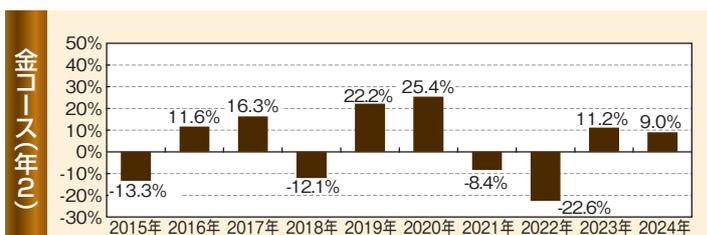
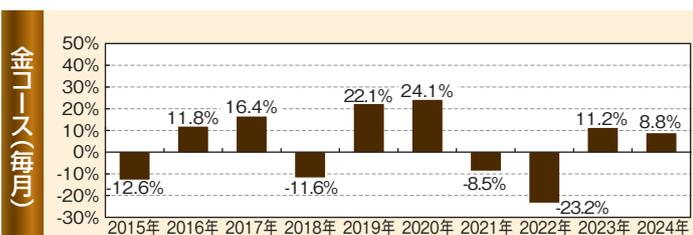
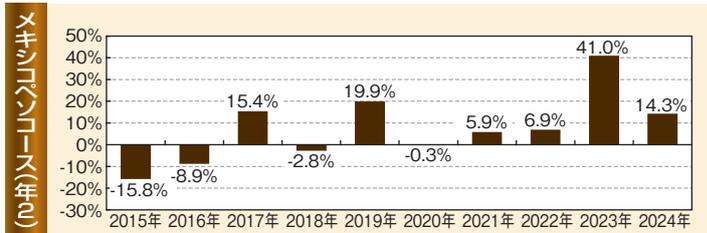
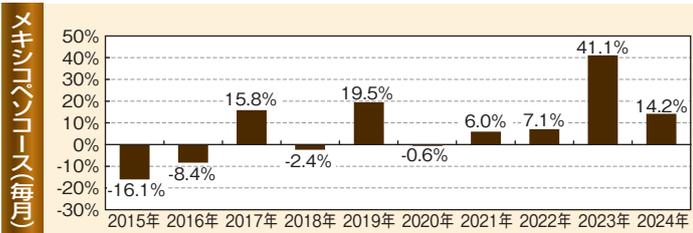
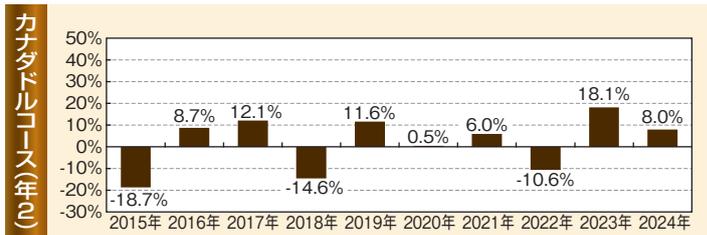
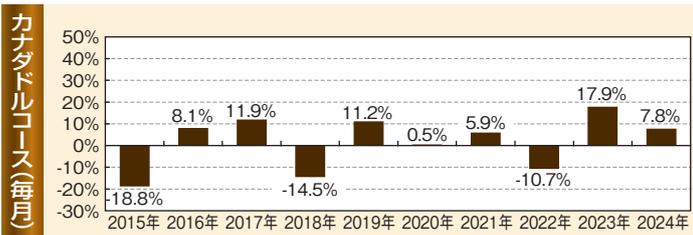
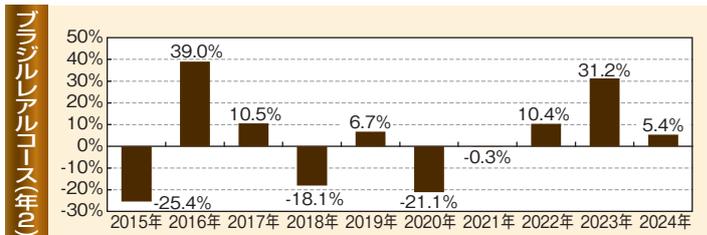
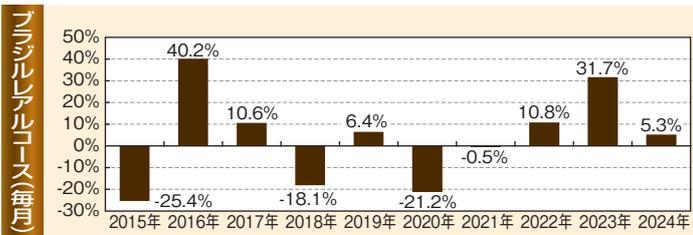
公社債	60.0%
現金・預金等	40.0%
合計	100.0%

※比率は、表示桁数未満を四捨五入しているため、合計の数値が必ずしも100とはなりません。

※比率および投資比率は、T&Dマネープールマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

## 年間収益率の推移(暦年ベース)





※ファンドの収益率は分配金再投資基準価額をもとに計算したものです。  
 ※ファンドにはベンチマークはありません。  
 ※2024年は年初から5月末までの収益率を表示しています。

◆運用実績は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。  
 ◆最新の運用状況は委託会社のホームページでご覧いただけます。

# 手続・手数料等

## お申込みメモ

購入単位	1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	原則として購入申込受付日から起算して6営業日目までにお支払いください。
換金単位	1口単位または1円単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を差引いた額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時*までに販売会社が受けたものを当日の申込分とします。 ただし、販売会社により異なる場合があります。 *2024年11月5日から午後3時30分となる予定です。
購入の申込期間	2024年8月9日から2025年2月6日まで 期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うために大口の換金申込等には制限を設ける場合があります。
購入・換金 申込受付の中止 および取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金およびスイッチングの申込の受付を中止することおよびすでに受けた申込の受付を取消すことがあります。
信託期間	2027年11月10日まで [円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース] (2009年11月17日設定) [カナダドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース、金コース] (2011年8月10日設定) [米ドルコース] (2014年2月7日設定)
繰上償還	各々投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなる場合には、当該ファンドは繰上償還されます。また、その他やむを得ない事情が発生した場合等には、繰上償還となることがあります。
決算日	[毎月分配型] 毎月10日(休業日の場合は翌営業日) [年2回決算型] 5月、11月の各10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	[毎月分配型] 年12回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 [年2回決算型] 年2回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 販売会社との契約によっては、税引後無手数料で再投資が可能です。
信託金の限度額	各ファンドにつき 7,000億円
公 告	委託会社が投資者に対してする公告は、原則として電子公告により行い、委託会社のホームページ ( <a href="https://www.tdasst.co.jp/">https://www.tdasst.co.jp/</a> ) に掲載します。
運用報告書	5月および11月の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は、税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。ファンドについては、NISAの適用対象ではありません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。
申込不可日	下記のいずれかに該当する日には、購入、換金およびスイッチングの申込はできません。 ・ ニューヨーク、ロンドン、ダブリンの各銀行または各証券取引所の休業日
スイッチング	「毎月分配型」の各ファンド間および「年2回決算型」の各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、購入・換金時と同様に販売会社が定める所定の手数料等がかかります。

## ファンドの費用・税金

### ●ファンドの費用

#### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 <b>3.3%(税抜3.0%)を上限</b> として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 購入時手数料は、ファンドの商品および関連する投資環境の説明ならびに情報提供、販売にかかる事務費用等の対価です。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	毎日、ファンドの純資産総額に <b>年0.968%(税抜0.88%)</b> の率を乗じて得た額とします。ファンドの運用管理費用(信託報酬)は日々費用計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または償還時にファンドから支払われます。 信託報酬=運用期間中の基準価額×信託報酬率 [運用管理費用(信託報酬)の配分] (年率・税抜)												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>支払先</th> <th>信託報酬率</th> <th>対価の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>0.35%</td> <td>委託した資金の運用等の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.5%</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.03%</td> <td>運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価</td> </tr> </tbody> </table>	支払先	信託報酬率	対価の内容	委託会社	0.35%	委託した資金の運用等の対価	販売会社	0.5%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	受託会社	0.03%	運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価
	支払先	信託報酬率	対価の内容											
	委託会社	0.35%	委託した資金の運用等の対価											
販売会社	0.5%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価												
受託会社	0.03%	運用財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価												
投資対象とする 外国投資信託	外国投資信託の純資産総額に対し、年0.75%程度 外国投資信託の運用報酬は、外国投資信託の運用の対価、運用財産の管理等の対価です。													
実質的な負担	<b>年1.718%(税抜1.63%)程度</b> ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、受益者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。													
その他の 費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>信託財産にかかる監査費用および当該監査費用にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。</li> <li>証券取引に伴う手数料、組入資産の保管に要する費用等は、信託財産中から支弁します。</li> </ul> また、組入外国投資信託において、証券取引・オプション取引等に伴う手数料、その他ファンドの運営に必要な各種費用等がかかります。 これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。													

上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### ●税金

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

- 外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- 法人の場合は上記とは異なります。
- 税金の取扱いについては、2024年5月末日現在のものであり、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- 詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 《参考情報》 ファンドの総経費率

直近の運用報告書作成対象期間におけるファンドの総経費率は以下の通りです。

	総経費率(①+②)	運用管理費用の比率①	その他費用の比率②
円コース(毎月)	1.96%	0.96%	1.00%
米ドルコース(毎月)	1.95%	0.96%	0.99%
豪ドルコース(毎月)	1.95%	0.96%	0.99%
ブラジルリアルコース(毎月)	1.97%	0.96%	1.01%
南アフリカランドコース(毎月)	1.94%	0.96%	0.98%
カナダドルコース(毎月)	1.94%	0.96%	0.98%
メキシコペソコース(毎月)	1.95%	0.96%	0.99%
トルコリラコース(毎月)	1.97%	0.97%	1.00%
金コース(毎月)	1.97%	0.96%	1.01%
円コース(年2)	1.95%	0.96%	0.99%
米ドルコース(年2)	1.96%	0.96%	1.00%
豪ドルコース(年2)	1.95%	0.96%	0.99%
ブラジルリアルコース(年2)	1.96%	0.96%	1.00%
南アフリカランドコース(年2)	1.95%	0.96%	0.99%
カナダドルコース(年2)	1.95%	0.96%	0.99%
メキシコペソコース(年2)	1.97%	0.96%	1.01%
トルコリラコース(年2)	1.96%	0.96%	1.00%
金コース(年2)	1.97%	0.96%	1.01%

※対象期間は2023年11月11日～2024年5月10日です。

※対象期間中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した値(年率)です。

※その他費用の比率には、投資先ファンドにかかる費用が含まれます。

投資先ファンドとは、ファンドが投資対象とする投資信託証券(マザーファンドを除く)です。

※これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

※詳細につきましては、対象期間の運用報告書(全体版)をご覧ください。